

## 教育相談だより Vol.4

### ● 分かり合えない人とこそ ●

みなさんは社会で求められている「コミュニケーション能力」ってなんだと思いますか？言葉を巧みに操れる能力でしょうか？それとも自分を取り繕って相手を不快にさせない能力でしょうか？いろいろな考えがあると思いますが、この質問への答え（の1つ）をみなさんにお教えしたいと思います。

まずは皆さんの周りにいるクラスメイトを見回してみてください。その中に「この人は自分と全く同じ価値観をもっている」と断言できる人はいますか？同じ好きなものがあったり、共通の話題があったりする友達はあるかもしれませんが、全く同じ価値観を持っている人はいませんよね。みんなが分かり合えるようになったらなんて素晴らしい世の中になるだろう。そう思うことはあるかもしれませんが、結局のところ人々はバラバラなままで生きていきます。価値観は多様化します。ライフスタイルは様々になります。ですが、人間は社会的な生き物なのでバラバラなだけでは生きていけません。どうしても、社会生活を営んでいくうえで、地域社会で（或いは今のみなさんの立場であれば学校で）決めていかななくてはならないことがあります。

今までの時代は、遠くで誰かが決めてくれたことに何となく従っていれば、いろいろ小さな不都合はあったとしても、だいたいみんなが幸せになれる社会でした。しかし、今みなさんが生きる時代は自分たちで自分たちのことについて判断し、責任を持たなければならない時代です。判断を誤ると自治体でさえもつぶれる時代が来てしまったのです。ただ、この1点が変わったために、日本人に要求されている「コミュニケーション能力」の本質が大きく変わりつつあるのです。今までは、遠くで誰かが決めていたことを何となく理解し、空気を読むといった能力、「心を一に」「一致団結」といった「価値観を一にする方向のコミュニケーション能力」が求められてきました。

ですが、もう日本人はバラバラです。人々の価値観は色々な長さで色々な方向を向いています。この日本に住むのは決して日本文化を前提とした人々だけではありません。今求められる能力は「バラバラな人間が、価値観はバラバラなままで、どうにかしてうまくやっていく能力」なのです。空気を読んで他人にあわせる「協調性」だけではなく、自分と異なる人ともうまくやっていける「社交性」が必要なのです。

ここまで読んでくれた人は今求められている「コミュニケーション能力」がどんなものなのか1つの答えが見えたのではないのでしょうか。そして、考えながら読んでくれていた人は「なんでこんなことを教育相談だよりで取り上げるのだろうか」と疑問を抱いたかもしれませんね。みなさん一人ひとりが気持ちよく学校生活を送るためにはこのコミュニケーション能力が必要です。自分と異なる価値観を持つ人ともうまくやっていく能力です。自分と合う人とだけ関係性を持つことは楽ですが、そのくくりから溢れてしまう人もいますかもしれません。仲の良い友達を大切にするとともに、是非、自分（或いは自分が仲良くしている人たち）と合わない人を排除しないようにしてください。分かり合える人ばかりではないからこそ、みなさん一人ひとりの「コミュニケーション能力」で、全員が生活しやすい真工を作ってください。《参考文献：わかりあえないことから コミュニケーション能力とは何か 平田オリザ》